

3. 展開 (50分)

○：指導上の留意点 ◆：評価規準

	時間	学習内容・活動	指導上の留意点および評価
導入	5分	<p>●文理選択をする目的を理解する。</p> <p>あなたはこれから、文理選択や科目選択をしなければならない時期がきます。一度選択すると、途中で変更することは難しいです。</p> <p>「ジブラボ」の結果資料を使ってさまざまな視点から文理選択について考えてみましょう。</p>	<p>○文理選択について、「ジブラボブック」2ページの「3.『ジブラボ』を文理選択にフル活用」を読ませながら説明してもよい。</p> <p>◆文理選択を考えることに意欲や関心をもてたか。</p>
展開	30分	<p>●「ジブラボブック」8ページのワークシートの1を行い、「アドバイスシート」の「文理発見！」部分を振り返る。</p> <p>「ジブラボブック」8ページのワーク2を開きましょう。「アドバイスシート」の「文理発見！」の欄を見ながら、ワークシートの「1. アドバイスシートで文理希望を確認」に取り組み、「ジブラボ」の結果からわかったあなたの文理について確認してみましょう。</p> <p>●ワークシートの2と3を行い、学問や職業を「文系」「理系」という観点から考える。</p> <p>9ページの「学問リサーチの見方」を見てみましょう。タイトルの「文学」のすぐ下に文系度・理系度が載っています。文学だったら文系度が高いですね。21ページの「数学」だったら理系度が高いです。このように学問は、文系度・理系度がさまざまです。職業も学問と同様に文系度・理系度がさまざまです。</p> <p>ワークシートの「2. 希望する学問の文理を確認」と「3. 希望する職業の文理を確認」で、学問や職業の文理を調べてみましょう。</p>	<p>○アドバイスシートの見方がわからない場合は、「ジブラボブック」5ページの「③文理発見！」を読ませる。</p> <p>◆「アドバイスシート」の内容を理解できたか。</p> <p>○学問や職業は文系と理系に分けられることを確認する。</p> <p>○時間があれば、文系と理系の間での学問や職業がどのようなものか探してみる。</p> <p>○学問や職業は文系・理系以外に、屋外・屋内、創造的・理論的、集団・個人、対ヒト・対モノのようにいろいろな見方ができる。</p> <p>◆学問や職業の文理の特徴を理解できたか。</p>
まとめ	15分	<p>●ワークシートの4を行い、文理選択をもう一度考える。</p> <p>ワークシートの1～3で考えたことから、あなたは文系・理系のどちらを希望しますか。「4. 文理希望をもう一度確認」に取り組んで、文理選択についてもう一度考えてみましょう。</p> <p>●文理選択の重要性を理解する。</p> <p>文理や科目の選択は、学問選択や職業選択につながることをしっかり踏まえて、これからの進路選択を間違えないものにしてください。</p>	<p>○「ジブラボ」の結果、希望する学問・職業の文系度・理系度から、文理選択を総合的に考えさせる。</p> <p>◆さまざまな視点から文理選択を考えることができたか。</p> <p>◆文理選択や科目選択が今後の自分の将来のためにとっても大事な決断であることが理解できたか。</p>

